

生産者・流通・消費者を結びつける

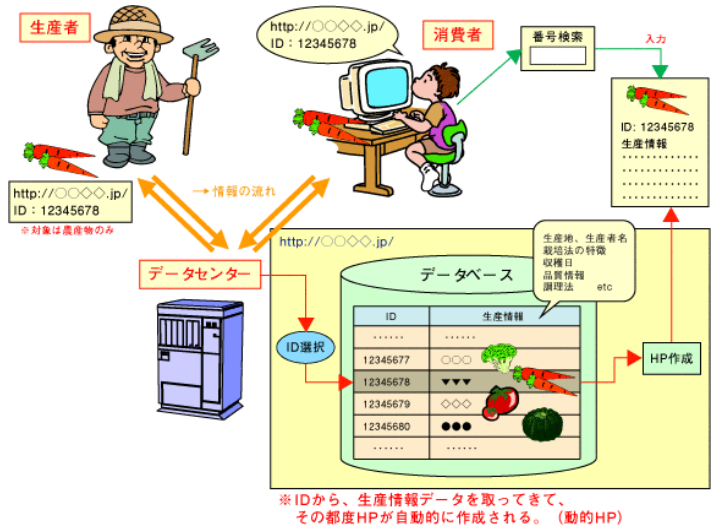
VIPS特許と農産物情報のユビキタス化

■ VIPS 特許の請求範囲

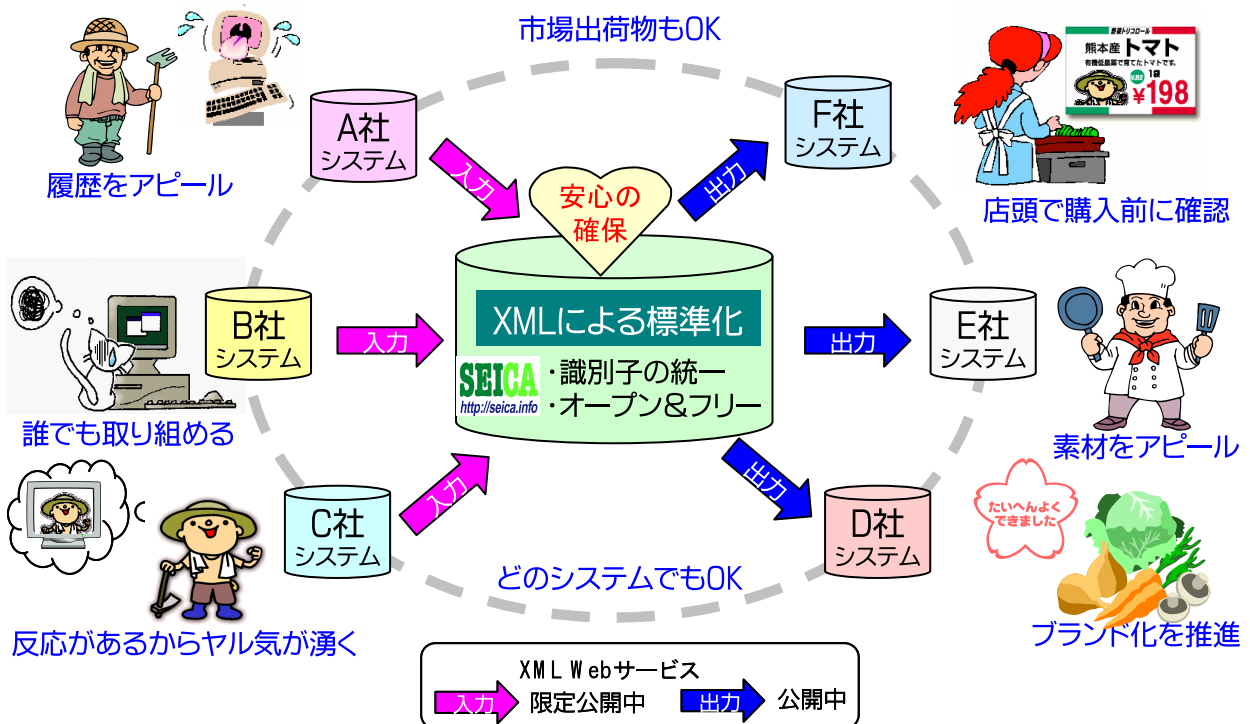
栽培方法、地域、品目等により異なる膨大な農産物の情報を、識別子(URLとID番号)のみを付与することで、それを手にした人が確実にその農産物の情報を入手することができるシステムです。この特許は、農産物のみを対象としており、以下の点が請求範囲となっています。(厳密、詳細な情報は特許公報をご覧ください)

特許のポイント

1. 識別子がID番号と情報を入力するためのアクセス先(URL)からなること。
2. 上記識別子が、何らかの方法で農産物に付与されていること。
3. 上記識別子と生産情報(生産地、生産者名、品種、栽培方法、収穫日、品質情報など)が、データベース化されていること。
4. 検索する識別子に応じて、その都度データベースからホームページが作成されること。



■ 農産物情報のユビキタス化



お問い合わせ先

独立行政法人 食品総合研究所 食品工学部 電磁波情報工学研究室
 杉山純一 (e-mail: sugiyama@affrc.go.jp URL: http://vips.nfri.affrc.go.jp)